

第2次計画より第3次男女共同参画計画はここが違う！



ポイント1

基本方針が4つから5つへ

第3次計画は、第2次計画を検証し、さらに社会情勢の変化に対応するため、基本方針を4つから5つに、また施策の方向性を10から12に増やし、市民と協働し、男女共同参画社会の実現に向けて施策を推進します。

ポイント2

社会情勢に対応した女性の活躍推進、あらゆる人権の尊重

2015年(平成27年)に、女性が希望に応じて十分に個性や能力が発揮できる環境づくりを図るため「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」が施行。また、大規模災害時に避難所などの運営に女性の視点が必要とされています。さらに、現在では、LGBT、ヘイトスピーチなど人権課題が増加し、子ども、高齢者、女性、障がい者についても、様々な事件が発生し、人権問題が複雑化しているため、これらを第3次計画に盛り込み、様々な施策を展開します。

ポイント3

代表となる指標を設定

第3次計画では、基本方針ごとに代表となる指標(2022年度の目標値)を設定しましたので、指標の数値に近づくように、基本方針に基づく施策の方向性に係る市の取組を推進していきます。男女共同参画を実現するには、市民一人一人の意識高揚が必要ですので、市民の方の取り組みもお願いします。

代表となる指標

- 基本方針1 審議会等における女性委員の割合 40.0%
- 基本方針2 放課後児童対策事業(入所率) 100%
- 基本方針3 男女共同参画推進講座等参加者数 450人
- 基本方針4 がん検診受診率 30.0%
- 基本方針5 人権啓発事業参加者数 4,000人



厚木市ホームページで「第3次厚木市男女共同参画計画」を検索してね！

【編集後記】

「あらゆる分野で、性別にかかわらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うことができる社会」を目指して啓蒙活動に取り組んで参りました。その結果、市民の皆様の意識は、醸成されつつありますが、まだ男女共同参画が実現したとは言えない場面もあります。

この度、第2次計画での目標達成度などを踏まえ、第3次計画を策定いたしましたので、ここに狙いと骨子をご説明し、具体的な推進策で一歩一歩を確かなものにしていきたいと考えております。

引き続き、市民の皆様のご協力とご支援を賜りたくお願い申し上げます。

平成31年2月発行

編集 厚木市男女共同参画推進委員会

発行 厚木市協働安全部

市民協働推進課

厚木市中町3-17-17

厚木市役所 本庁舎1階

男女共同参画だより No.139

私たちがめざす男女共同参画社会とは、男女がお互いを尊重し、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場、学校などにおいて一人一人がいいきと暮らせる社会です。



特集

第3次

男女

共同参画計画

ワーク・ライフ・バランスを実現し、
家族で団らんのひとときを。



男女共同参画事業の外部評価の様子。
拡大、改善などさまざまな意見がありました。

市内大学での男女共同参画の啓発活動

第3次厚木市男女共同参画計画

基本目標

男女がお互いを尊重し、いきいきと暮らせる社会をめざします

基本方針

●基本方針1 女性の様々な分野における活躍の推進

- 施策の方向
- (1) 女性の様々な分野における参画の推進
 - (2) 女性が働ける・働き続けられる就業等の環境整備

●基本方針2 ワーク・ライフ・バランスの充実

- 施策の方向
- (1) ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた環境整備の充実
 - (2) 働き方の意識改革と家事、育児、介護への積極的参加の促進
 - (3) 事業者が実施する様々な取組の推進

●基本方針3 男女共同参画の社会づくり

- 施策の方向
- (1) 男女共同参画の更なる推進に向けた啓発と情報提供の充実
 - (2) 家庭、学校、地域における男女共同参画の教育・学習等の充実

●基本方針4 安心・安全なくらしの実現

- 施策の方向
- (1) 配偶者、パートナーからのあらゆる暴力（DV）の根絶に向けた支援
 - (2) ハラスメントと性犯罪などの防止
 - (3) 誰もが生涯を通じて、いきいきと暮らせる心身の健康の確保

●基本方針5 男女のあらゆる人権の尊重

- 施策の方向
- (1) あらゆる人権に配慮した意識づくり
 - (2) 人権尊重社会の実現に向けた相談体制の充実

男女共同参画社会ってなあに？

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会を形成すること。

「男女共同参画社会基本法」抜粋

男女共同参画社会を取り巻く環境は？

少子超高齢社会の進行

4人に1人が65歳以上

少子化が進むと働き手が減り、経済規模が縮小する可能性が高まります。

人口減少社会の到来

2060年には厚木市
人口が15万人に！

厚木市人口ビジョンの推計では、人口対策を講じない場合、2060年度には約15万人まで減少すると推測されています。この計画も人口対策の一つになっています。

度重なる自然災害

地震や風水害などの自然災害は年々増加し、被害は甚大となっています。避難所では様々な人が生活することから、男女共同参画の視点に立った配慮が必要とされています。

多様化するライフスタイル

誰もが自分のライフスタイルに合わせた生き方が選択でき、様々な場面で活躍できる社会が重要視されています。

これらの対策の一つとして「**第3次厚木市男女共同参画計画**」を策定しました。

